

韓日労働者の平等・平和・共生のための国際連帯の約束 終戦から70周年、平等・平和・共生のための韓日労働者宣言

今から二六年前、韓国の労働組合（若い女性中心）から日本の労働者に支援要請がありました。

当時、韓国の、マサン地区には日本資本が安い労働力を求めて進出。その中のアジアスワニーという会社は、親会社が四国にあり、FAX一枚で工場閉鎖・全員解雇を通告してきたのです。彼女たちは日本遠征闘争に決起。大阪の多くの労働組合も支援に立ち上がり争議解決を闘いとりました。以降、全港湾建設支部の中村猛さんが、ハンケルを独力で勉強しながら地道な交流を続け、今日、民主労総全北本部との交流となっています。

今回、戦後七〇年という節目の年に双方から宣言を発しました。

引き続き日韓労働者が手をつなぎ闘い続けなければならぬと思います。

帝国主義戦争は終わりましたが、韓国と日本の労働者・民衆が流した血は未だに生々しく溜まっています。誰もこのような歴史を否定できません。韓国は三五年間、日本帝国主義によって徹底的に踏みじられました。日本帝国主義者らは数多くの韓国民衆を戦場で、戦いの武器を生産する工場で、そして慰安婦という名の『性奴隷』として収奪しました。今も韓国にはこれらの苦痛があちこちで

渦巻いています。韓国は光復七〇周年を迎えています。いくら日本が戦争賠償は解決済みと言っても、韓国の戦争被害はそれこそ天文学的で、韓国民衆の苦しみと受けた傷はそのまま残っています。安倍政権の謝罪なき歴史歪曲によって、多くの人々が再び傷ついています。しかし為政者たちは自らの既得権と権力を守るために、これらすべての行動を利用しています。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

すべての労働者に、暴力と差別の国籍と国境ではなく、平等のために、国家間の貧富の格差によって戦争が起こるといふ脅しではなく、すべてにあって平和な地であるために、原子力発電と核兵器によって地球の終末をも告げるであろう凄じい核開発を防ぐための、共生の生き方のために。

日本の民衆はどうでしょう？

日本の労働者・民衆もまた、為政者によって戦場に引き摺られて行かなければなりません。敗戦以後は筆舌に尽くし難い苦しい生活を送りま

した。愛国という名で戦後復興のために多くの労働者は血と汗を流さなければなりません。日本民衆の徹底した犠牲によって戦後の復興は可能でした。戦後、日本は先進国へと飛躍しました。しかし、前後七〇年が過ぎた今はどうでしょう。新自由主義によって途方もなく増えた非正規職労働者と景気の低迷によって、苦しい生活を送らなければなりません。資本家の貪欲な富の蓄積によって、社会はより一層不公平になっています。

帝国主義戦争に反対しながら七〇周年を迎えた私たち韓・日労働者は、

このような不平等に抗した国際連帯こそが、全世界を正しく、平和な社会にすることができると信じます。韓・日の労働者は、資本の世界化に対抗する労働者・民衆の平和と共生を望みます。戦争と暴力が乱舞する国境ではなく、文化的な差と言語の違いを克服する平和な国境を望みます。そして韓・日の労働者は、平等、平和、共生の生き方を実現するための連帯を止めることは決してないでしょう。

今、私たちは第二次世界

大戦を反省し、帝国主義戦争の被害者として、いずれもが和解できるようにしなければなりません。安倍政権と朴槿恵政権はまさにこのような労働者の念願を、国家の政策にしなければなりません。非正規職労働者のいない日本と韓国、過去に対して真摯に反省し、頭を下げるができる協力の政治をしなければなりません。誰も平等と共生の生き方を踏みに行うことはできないからです。今回の韓日労働者宣言を通じて、私たちは私たちの世の中が進むべき方向を持続的に提示して行くでしょう。

今までもよりも更に連帯を強めなければなりません。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

帝国主義戦争の終戦七〇周年を迎えて、韓・日労働者は次のように要求します。

一つ、非正規職労働者、移住労働者など、すべての労働者の差別を直ちに解消すること。

一つ、いかなる戦争にも反対し、戦争を挑発する行為を直ちに中止すること。

一つ、原子力発電所と核兵器開発を直ちに中止すること。

一つ、すべての人間の自由な共同体のために、絶え間ない連帯を約束すること。

韓・日の労働者は終戦七〇周年宣言を通じて、今後、以上の課題を実現するための連帯を継続し、

韓・日両国政府に強く求める行動を実践していくことを約束します。

二〇一五年六月十一日
終戦七〇周年
韓日労働者民主連帯
民主労総全北本部

「SWANNY」一八八九アジアスワニー
日本遠征闘争の記録」上映会

▼日時：八月七日（金）十八時〜

▼場所：エルおおさか南館

第15回 大空襲の体験を語る集い

戦後70年 この国はどここうしているのでしょうか
おふたりの戦争体験者から平和への思いをお聞きます

おはなし
保坂治男さん (元小学校校長)
伊賀孝子さん (大空襲被害者遺族会)

2015年8月1日【土】
午後1時30分開会
(開演0時30分)
港区南市岡3-6-26
田中機械ホール(参加費無料)

主催 特定非営利活動法人NPOみなと

非核平和行進2015

▼日時：七月二十三日（木）

▼場所：西区・新町西公園
(西区役所裏)

▼要綱：十四時〜集会開始
十四時三〇分〜デモ出発〜みなと通〜
天保山公園〜解散

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！